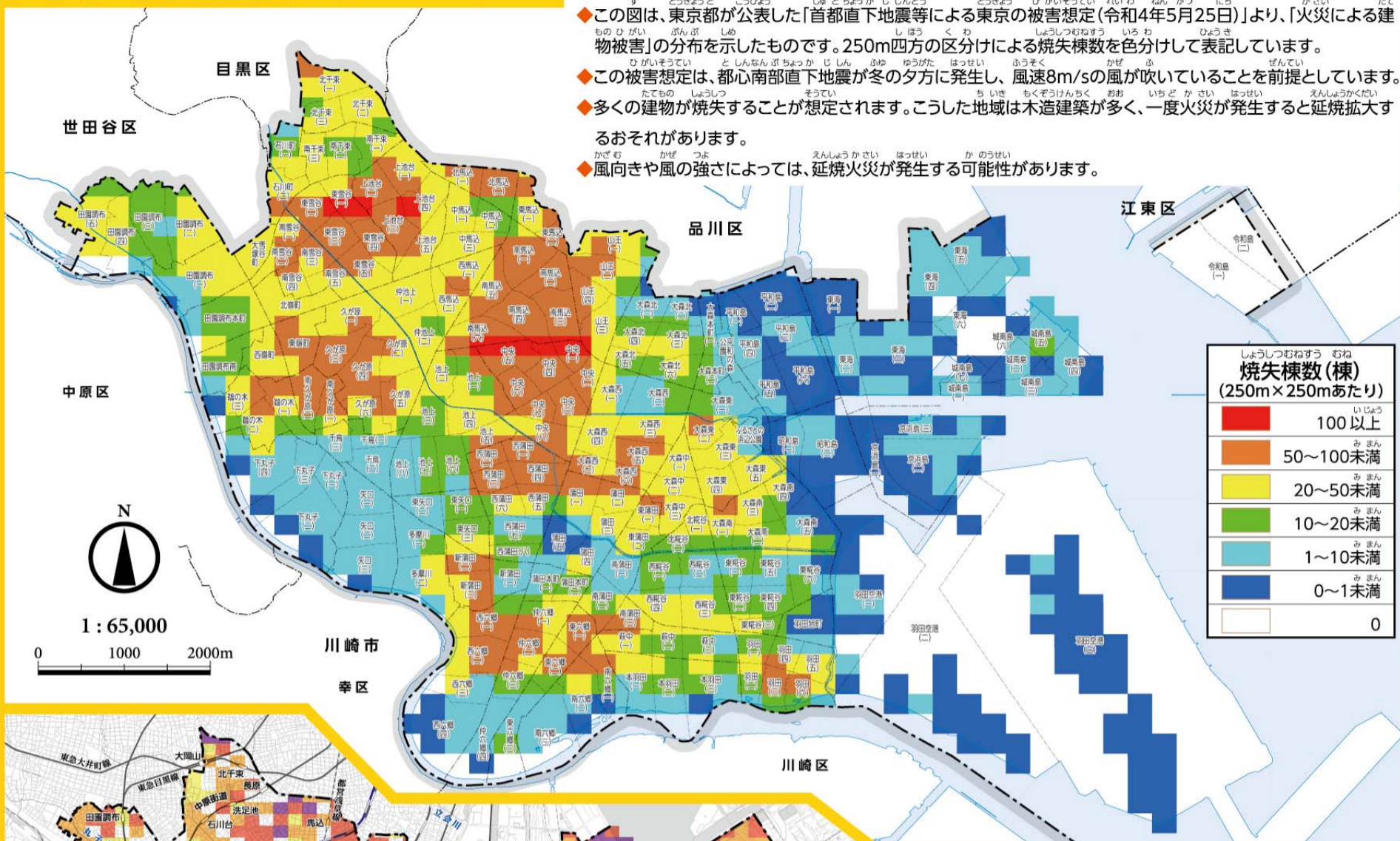


火災の被害想定ハザードマップ



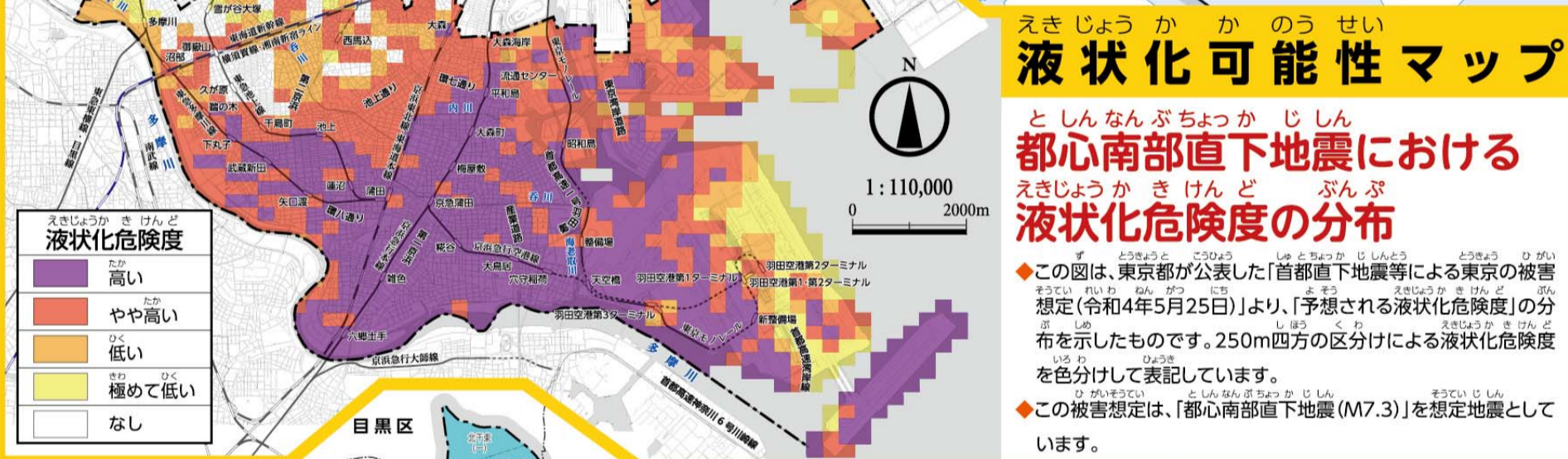
としなんぶちよつか じしん しょうじつたてもむねすう ぶんぶ 都心南部直下地震における焼失建物棟数の分布

◆この図は、東京都が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定(令和4年5月25日)」より、「火災による建物被害」の分布を示したものです。250m四方の区分けによる焼失棟数を色分けして表記しています。

◆この被害想定は、都心南部直下地震が冬の夕方に発生し、風速8m/sの風が吹いていることを前提としています。

◆多くの建物が焼失することが想定されます。こうした地域は木造建築が多く、一度火災が発生すると延焼拡大するおそれがあります。

◆風向きや風の強さによっては、延焼火災が発生する可能性があります。

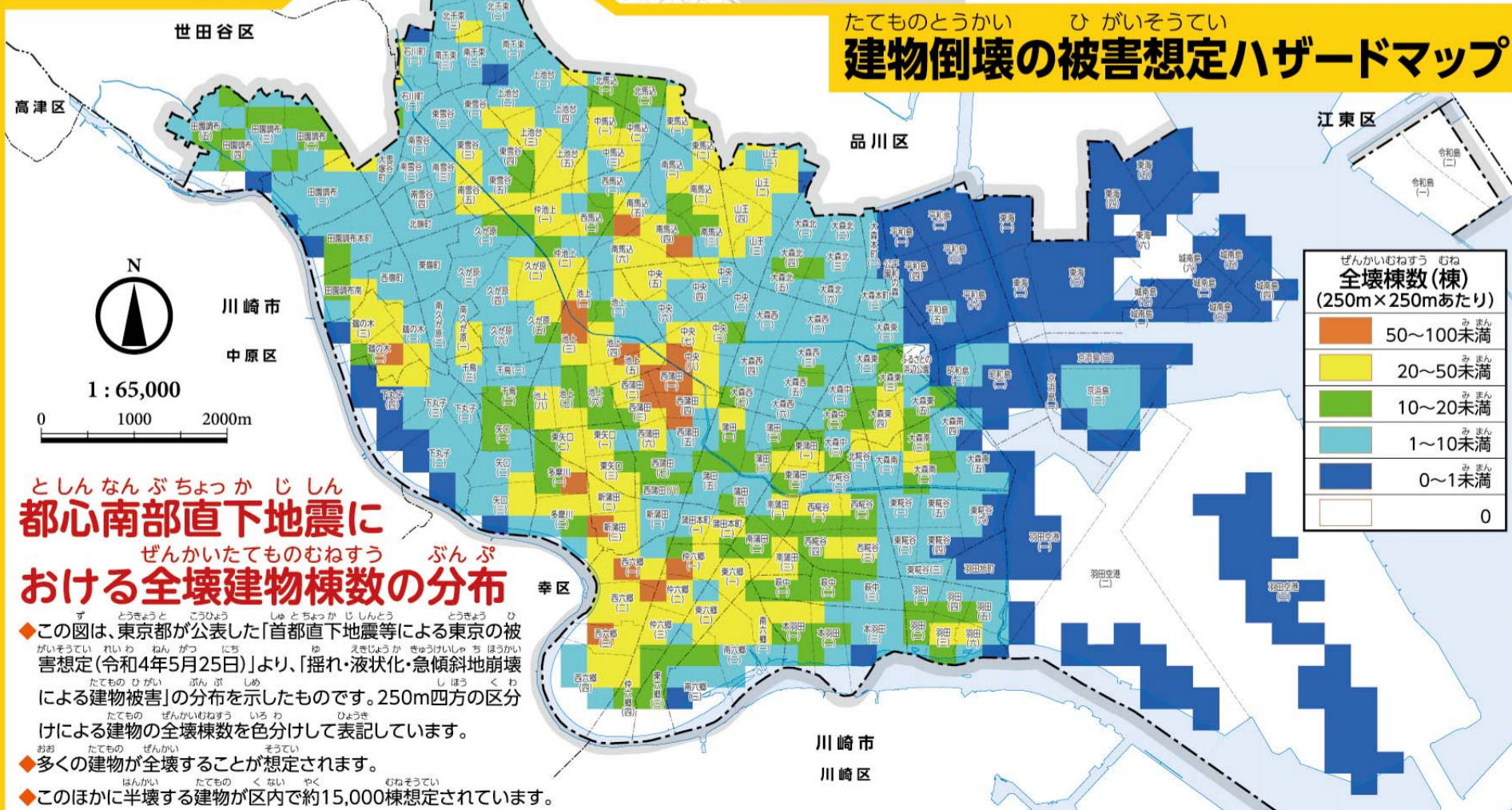


えきじょうか かのうせい 液状化可能性マップ

としなんぶちよつか じしん 都心南部直下地震におけるえきじょうか きけんど ぶんぶ 液状化危険度の分布

◆この図は、東京都が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定(令和4年5月25日)」より、「予想される液状化危険度」の分布を示したものです。250m四方の区分けによる液状化危険度を色分けして表記しています。

◆この被害想定は、「都心南部直下地震(M7.3)」を想定地震としています。



たてもんとうかい ひがいそうてい 建物倒壊の被害想定ハザードマップ

としなんぶちよつか じしん 都心南部直下地震における全壊建物棟数の分布

◆この図は、東京都が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定(令和4年5月25日)」より、「揺れ・液状化・急傾斜地崩壊による建物被害」の分布を示したものです。250m四方の区分けによる建物の全壊棟数を色分けして表記しています。

◆多くの建物が全壊することが想定されます。

◆このほかに半壊する建物が区内で約15,000棟想定されています。

おおた く 大田区ハザードマップ(震災編) 保存版

だい じしん そな 大地震の備え、できていますか?

東京都により被害想定、避難場所が見直されました

都心南部直下地震(冬・夕方、風速8m/s)による大田区の被害想定

建物被害(火災)	18,884棟
建物全壊(揺れ及び液状化、急傾斜地崩壊)	8,538棟
死者	726人
負傷者	7,815人
避難所生活者(ピーク時)	208,667人



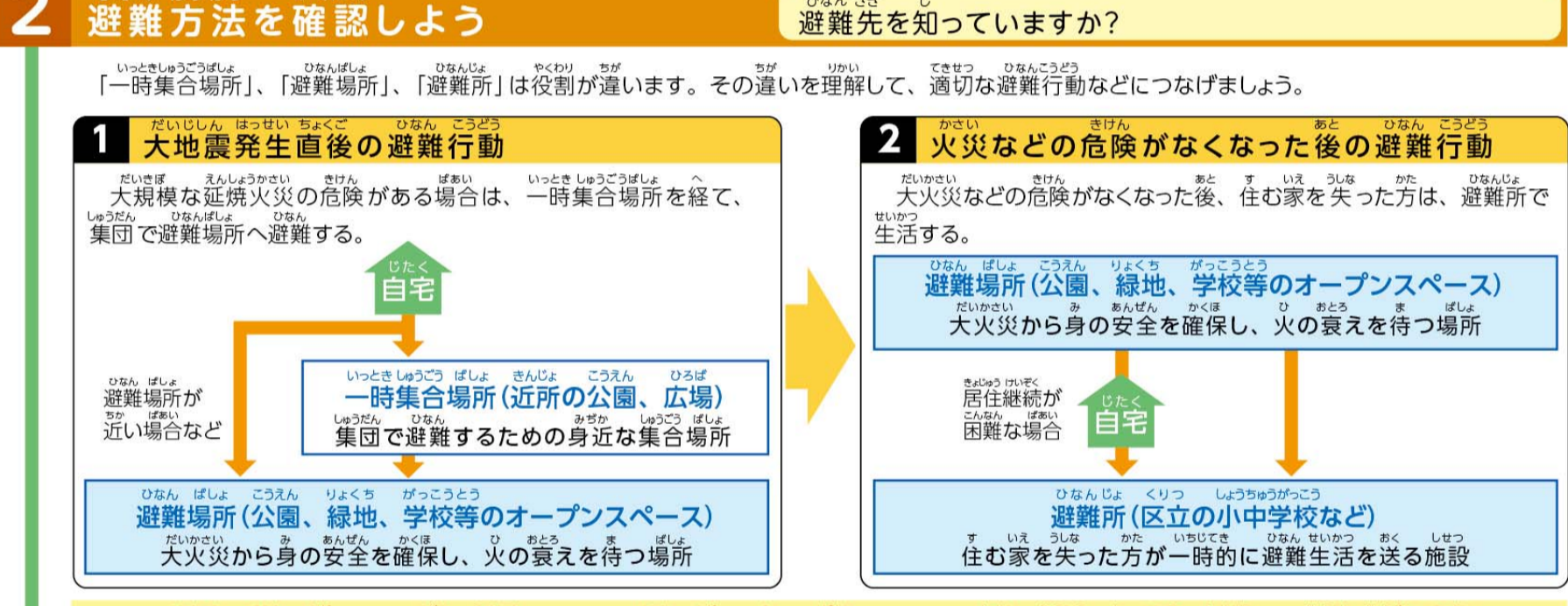
もう一度 備えを見直そう!

1 ハザードマップを確認しよう 自宅や周辺の災害リスクを知っていますか?

まずは裏面の「火災の被害想定」「建物倒壊の被害想定」「液状化可能性マップ」などで、自宅や学校、職場などにどのような災害と被害が想定されているのか確認しましょう。

2 避難方法を確認しよう 避難先を知っていますか?

「一時集合場所」、「避難場所」、「避難所」は役割が違います。その違いを理解して、適切な避難行動などにつなげましょう。



3 情報入手先を確認しよう 災害時に発表される情報を知っていますか?

災害時に発表される情報や情報入手先などを確認し、いざという時にあわてず適切に行動できるよう、知識を身に付けておきましょう。

緊急地震速報

大きな地震が予想される場合「もうすぐ強いゆれがくる」ことを知らせるため、テレビやラジオ、携帯電話などを通じて緊急地震速報が発表されます。緊急地震速報から強いゆれがくるまでの時間は、数秒から数十秒です。この間に、自分の身(特に頭)を守りましょう。

大田区防災アプリ・大田区防災ポータル

地震や台風などの災害が発生した際に、大田区から発信する災害に関する情報を、すばやく手に入れることができます。

◆大田区防災アプリのダウンロード

(Androidの方) (iOSの方)

◆大田区防災ポータル

<https://bosaiportal.city.ota.tokyo.jp/>

大田区防災ポータル

4 家具類の転倒防止対策、備蓄をしよう 日頃の備えが重要です

家具転倒防止器具の取り付けなど、室内の安全対策を行いましょ。また、自宅が安全な場合に自宅で生活が続けられるように、水や食料、生活用品などを備蓄しましょう。

自宅での生活を続けるための備えについては、区が発行する「わが家の防災チェックBOOK」を確認しましょう。